授業力向上プロジェクト委員会 vol. 4 授業力アップをめざして!

理科の授業づくり(1時間の授業の流れ)理科の授業では、自らの予想をもたせることが大切

1 課題の把握

- ①資料提示 興味関心を喚起し、好奇心をくすぐる資料を提示する。
- ②生活体験との関わりできる限り多くの場面を想起させる。
- ③学習問題の発見 何を調べるのかを明確化する。





2 予想をもたせる

- ①ノートへの記入 マーキングやメモ書きをさせる。
- ②全体での共有化 自分の予想を黒板に明示させる。。
- ③予想の理由 なぜそう思うのかを一言述べさせる。

※児童生徒一人一人に、予想をもたせた上で、実験に取り組ませる。

3 実験をする

- ①実験器具の確認
- ②もの作りで工夫
- ③ねらいとの照合

器具名や操作方法を、しっかりと把握する。 小道具は、実験への興味関心を向上させる。





4 結果





①結果の記入

図示と言葉で簡潔に記入

② I CTの活用 結果の共有化を図る

授業の質を高める教材研究

5 考察

主体的・対話的な学びで思考力・表現力を高める



この学習過程(児童生徒が自ら問題を見出し、解決するためのプロセス)は単元全体でも一単位時間でも活用可能です。日常生活といかに関連付けさせるかが授業成功のポイントです。

- 1 子どもの実態を知る。 (生活体験を引き出す)
- 2 指導内容を十分に理解する。 (科学的用語を用いる習慣)
- 3 授業で活用する教材を選択する。 (もの作りから興味関心)
- 4 指導計画を設計する (単元で身に付けたい力は何 かを学習指導要領で確認)

学級活動(1)の授業づくり 学級会では、児童生徒によりよい集団決定をさせることが大切

1 議題の選定

議題ポストの設置、朝の会や帰りの会で提案カードを書き、議題を集めます。

- ①多くの児童生徒が早急な解決を望む議題
- ②学級や学校生活をよりよいものにする議題
- ③創意工夫の余地がある議題
- ④決めたことを自分たちの力で具体的に実行できる議題
- ⑤学級内の問題で、学級全員で協力しなければならない議題
- ※集まった議題について、学級生活の充実や向上のために、「全員で話し合うべき問題かどうか」「自分たちで解決できる問題かどうか」などの視点で考える。

2 計画委員会

計画委員は輪番制で行い、 どの児童生徒も経験できる ようにします。



- (1)議題の募集 学級の問題を見つけられるように声をかける。
- ②議題の選定 学級の実態や行事を踏まえ条件に従って整理し選定する。
- ③議題の決定 整理した議題を知らせ、学級会で話し合う議題を決める。
- ④計画の作成と諸準備

学級会の役割分担を確認し、提案理由を明確化する。また、「話し合うこと」の柱を決め、学級会コーナーで全員に知らせる。

3 話合いの進め方 (三段階討議法)

「出し合う」段階では、賛成意見や反対 意見を述べるのではなく、様々な意見を 発表することが大切です。その考えを理 解するために質問することはあります。

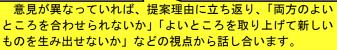
①出し合う

提案理由や話合いのめあてに沿って、 自分の考えを自分の言葉で発表できる ようにします。

②くらべ合う

最も時間をかけ たい段階です。

多様な意見を分類・整理し 「くらべ合う」ことによって、 よりよい取り組み方を探って いきます。



③まとめる

話合いを収束し、学級みんなの総意をまとめるようにします。「まとめる」段階では、「みんなが納得できる意見を選ぶ」「条件付きで納得する」ことなどが必要となります。

4 事後の活動

①話し合ったことの確認

学級会が行われたその日の帰りの会や 翌日の朝の会などで、学級会で決まっ たことを確認することが、事後の活動 を確かなものにする上で大切です。

②実践

「みんなで話し合って決めたことは、 必ず協力して実践する」ということを 徹底することで、学級の一員としての 意識や所属感が高まります。



③振り返り

実践後、感想を発表し合ったり、 振り返りカードに書いたりして、 実践したことや反省すべき点など 全体の振り返りを行い、お互いの 頑張りを認め合うようにします。